

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-53 ひとり親家庭等医療助成事業 □支援部門						
主管課	保険年金課	関連課	こども相談課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	ひとり親家庭等の生活の安定及び自立支援による福祉の増進						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	1906人	1721人	1723人			
運営資源状況	決算値(千円)	67,744	67,623	73,689			
	(国・県)	30,959	28,596	31,589			
	(負担金等)	1,027	4,997	7,273			
	(一般財源)	35,758	34,030	34,827			
	人員配置数	0.5人	0.5人	0.5人			
	人件費(千円)	3,911	4,096	4,451			
協働のパートナー	無	無	無				
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	71,655	71,719	78,140			
	市民1人当りの経費(円)	403	405	441			
	対象者1人当りの経費(円)	37,594	41,673	45,351			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団 体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
ひとり親家庭等医療助成事業	67,744	ひとり親家庭等医療助成事業	80,977	今後の方向性	B	理由・手法	今年度も、ひとり親家庭等の生活の安定及び自立支援による福祉の増進に努める。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	神奈川県が平成20年度に一部負担金を導入した。鎌倉市は、現時点では導入の予定は無いが、県内各市の状況を把握する必要がある。										
課題解決のための取組	神奈川県医療費助成改正への対応について、県内各市の状況を確認した。					取組の結果	□解決 ■未解決				
未解決の課題	医療費の適正化に向けたレセプト(診療報酬明細書)点検業務の強化継続										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	今後とも神奈川県医療費助成改正への対応について、県内各市の状況の把握に努めるとともに、医療費の適正化に向けてレセプト(診療報酬明細書)点検業務の強化を継続する。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B	※□事業完了		

評価者名

保険年金課長

持田 浩史

